

発議 16 号、警察官の増員に関する意見書について、日本共産党を代表し、賛成討論を行います。

最近における各種犯罪の急増と治安の著しい悪化は、私たちの暮らしを根底から脅かしており、健全な市民社会を危機におとし入れるものであります。日々の暮らしの安全の確保、これは市民が等しく願うところであり、そのための態勢の整備は行政の重要な責務であります。

とりわけ、人口急増となっている本市の実情に基づけば、地域において住民との接点となり、地域の安全に直接の責任をもつ交番や派出所などの第一線部門については、その充実強化が望まれております。意見書案が求める警察官の増員が、これら第一線の現場を強化することに、直接につながるものとなるべきことは、申すまでもありませんので、賛成します。

ただ、最後に、2点指摘します。第1に、警察行政全体をみれば、予算や人員の配分が警備公安部門中心にかたよっているとの指摘も聞かれています。この改革も、警察官の増員と同様に、急務であると指摘します。第2に、いま沖縄県民の意向も無視したヘリパッド建設等が強行される中、千葉県警も含め全国から警察官が沖縄に集められ、反対する住民への人権無視、報道の自由を侵害するなどの行為が続発していると報道されています。この意見書がそういう活動をあおることに使われるならば、市民も議会も冒涇する行為になると指摘して、賛成討論を終わります。